

学校関係者評価報告書

学校法人鶴嶺学園

湘南ウェディング専門学校

学校関係者評価委員会

学校法人鶴嶺神奈川社会福祉専門学校、学校関係者評価委員会は平成 28 年自己点検評価報告書の結果に基づき学校関係者評価を 6 月 22 日に実施したので下記のとおり報告します。

1. 学校関係者評価委員会 出席者

名 前	所 属
境野 勝久	道塾慶陽館 主宰
笹尾 茂樹	公益社団法人日本ブライダル文化振興協議会 委員
柳下 伸	NPO 法人 トータルライフサポートクラブ 理事
武田 七郎	社会福祉法人 浦和福社会 理事

2. 実施方法、公表

学校関係者評価の実施に当たっては、年度末に実施した「自己点検評価」を学校関係者評価委員会の皆様にごらんいただき、自己点検評価の各項目に対するご意見と評価を取りまとめました。

評価結果は今後の本稿における教育活動や学生指導の学校運営の改善に活かし教育水準の向上に努めることとし、ホームページ等に公表します。

3. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

各評価項目別の質疑意見は以下の通り

評価項目（1）	教育理念・目標
<ul style="list-style-type: none"> ・学園、学校の理念は変わらないものだが、時代に合わせて目標は変えてゆく必要がある。 ・卒業後、即戦力になる人材の教育を行うこと ・キャッチコピーを新しく制定したことはよい ・学校としてのビジョン、ミッションも新たに策定してはどうか 	
評価項目（2）	学校運営
<p>サン・ライフグループの法人との連携を強化して欲しい。 実習先、就職先としての教員と施設との連携をすすめること。</p>	
評価項目（3）	教育活動
<ul style="list-style-type: none"> ・学生の基礎学力低下（質の低下）が見られる。一般的な常識からも学べるように。 ・教員自身の質の向上のためにも、外部の研修には積極的に出て欲しい ・退学者の防止への取り組みを継続 	
評価項目（4）	学習成果
<ul style="list-style-type: none"> ・退学予備軍の学生への個別フォローへの取り組みを継続。 ・学力の低い学生についての補修などを含めたフォローを行うこと 	
評価項目（5）	学生支援
<ul style="list-style-type: none"> ・経済的に困難な学生に対する支援(学費の減免)の取り組みの中で、経済的困窮の理由として、天変地異による家計支持者の急変も盛り込んで欲しい。 	
評価項目（6）	教育環境

新規開校ということもあり、設備面では老朽化などの問題はないが、
今後も必要な設備の改善は行っていただきたい

評価項目（7）	学生の受け入れ募集
少子化、大学進学率の上昇、業界の不人気もあり、高卒者の確保が難しい状況ではある。また、18歳人口に頼らない既卒社会人の取り込みも急務の案件である。 さらに、男子学生の獲得については継続して優先課題として取り組むこと	

評価項目（8）	財務
学生数減少に伴う収入の減少は避けられない。学費未収の防止、退学者の防止に継続して努めるように。18歳人口だけでなく、企業の新人研修やフォローアップ研修などの社会人とりこみ対策もあわせて考えること。	

評価項目（9）	法令の遵守
特に問題なし	

評価項目（10）	社会貢献・地域貢献
七夕ウェディングや湘南ベルマーレでのイベントに今後とも積極的に取り組んで、学校のアピールにつなげてもらいたい。	

総評

上記10項目に対し、委員による評価を行った。

湘南ウェディング専門学校としては、初めての関係者評価となったが、今後とも継続的に調査、評価を行い、学校運営の質の向上を図ってゆく。

同学園内に職業実践専門課程取得校が2つ既に存在しているが、湘南ウェディング校としては、他の学校にない、学校の独自性、優位性を維持し、広くアピールして行くことも求めたい。現場のニーズを重視したカリキュラム編成や校外実習など学生の実践力向上に対する取り組みを、業界の情勢を鑑みながら続けてゆくこと。

以上